

科目分類	いのち・人間の教育			開講学科	全学科
科目番号	学年	配当セメスター	区分	単位数	授業時間数
18005	1	前期	選択	1	15
授業科目名 (英文)	医療と人間 (Healthcare and Human)				
担当教員名	◎木村 哲／小西 敏郎／石原 照夫／末永 由理				
授業の概要及び到達目標					
<p>概要：</p> <p>8回の講義の内、木村が5回担当します。将来、直接あるいは間接的に医療にかかわる皆さんには、是非とも患者さんやそのご家族の人生観・価値観を理解・尊重し、一人一人の患者さんに最適で満足の得られる医療を提供できる人材になってもらいたい。そのために必要な倫理観など基本的事項について学習すると共に、皆で討論する時間を入れ、共に考え共に成長できる授業にしたいと考えています。いくつかの講義の最後に、その日の講義内容から課題を提示します。自分の考えを400字程度のレポートとして提出して下さい。次の木村の講義の時に主な意見を紹介し討論します。色々な考え方に接し、議論しながら自分の考えを整理して下さい。</p> <p>到達目標：</p> <p>多様な人生観・価値観を受け止める寛容性、医療人に求められる倫理観、ジュネーブ宣言に盛り込まれている精神が身に付いている。患者の権利とリスボン宣言、ヘルシンキ宣言と研究倫理、患者中心の医療、チーム医療、インフォームドコンセントなどが理解できている。</p>					
準備学習等					
<p>第1回：医の倫理に関連し、世界医師会（WMA）のヘルシンキ宣言について調べておいて下さい（日本医師会のホームページが参考になる）。</p> <p>第2回：医療提供者と患者の関係、インフォームドコンセント、チーム医療；患者の権利とリスボン宣言、インフォームドコンセントについて予習しておいて下さい。</p> <p>第3回：遺伝子と病気、ダーウィンの進化論、メンデルの法則などにつき予習しておいて下さい。</p> <p>第4回：少子高齢化社会における医療保健・介護保険の維持・持続；社会保険の負担の在り方について考えて下さい。</p> <p>第5回：尊厳死とはどのような最期の迎え方なのか調べておいて下さい。</p> <p>第6回：グリーフケアについて考える；グリーフケアとは何か調べておいて下さい。</p> <p>第7回：医療安全に関連し、最近の医療事件事例の報道に注目して下さい。</p> <p>第8回：医療関連感染症の予防に求められる標準予防策について予習しておいて下さい。</p>					
成績評価の方法	参加状況 40%、レポート評価 60%、期末試験 なし				

テキスト	教科書は定めていませんが、下記の参考図書を必要に応じ活用すること。毎回プリントを配布します。将来、就職してから見直したい時があると思いますので、きちんとファイルしておいて下さい。
参考図書	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 笹山雄一著，人体探求の歴史，築地書館，2013</li> <li>2. 井部俊子監修，服部健司・伊東隆雄編，医療倫理学のABC（第2版），メヂカルフレンド社，2012</li> <li>3. 山中伸弥監修，iPS細胞の世界，日刊工業新聞社，2013</li> </ol>
備考	<p>高校時代までの「教わる授業」から、「自ら考え、自ら学ぶ授業」への転換と一緒にチャレンジする。討論を通じクラスメートの多様な考え方に接しながら、一緒に考える。</p> <p>課題に対するフィードバック：8コマの授業の内4回のレポート提出があります。その後の授業の前半に、それぞれレポートに見られた主な意見を紹介し、その考え方について学生同士で討論し、多様な考え方を体験してもらいます。期末試験は行わず、レポートと授業への参加状況で評価します。</p> <p>オフィス・アワー：月（15:00～17:00）、火（8:30～17:00）、水（14:00～17:00）、金（8:30～16:00）（いずれも五反田キャンパス・オフィス。但し、時々会議等あり）</p> <p>卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連については、別途明示している各学科の履修系統図をご確認下さい。</p>
授 業 計 画	
<p>第1回：医の倫理について考える；ヒポクラテスの誓い、ジュネーブ宣言、ヘルシンキ宣言、リスボン宣言、患者の自己決定権、インフォームドコンセント、エホバの証人と輸血について考える（担当教員：木村 哲）</p> <p>第2回：医療提供者と患者の関係、インフォームドコンセント、チーム医療；患者の権利（リスボン宣言）、患者中心の医療等について考える（担当教員：末永 由理）</p> <p>第3回：遺伝子と病気、生命倫理について考える；遺伝病と先天性疾患、ダウン症、出生前診断について考える（担当教員：木村 哲）</p> <p>第4回：少子高齢化社会における医療保健・介護保険の維持・持続；急速に進む少子高齢化社会をどう乗り切るべきか考える（担当教員：石原 照夫）</p> <p>第5回：尊厳死と安楽死について考える；尊厳死、安楽死に対する日本と海外の考え方を紹介する（担当教員：木村 哲）</p> <p>第6回：グリーフケアについて考える；医療者ができるグリーフケアにはどんなことがあるか考えましょう（担当教員：小西 敏郎）</p> <p>第7回：医療安全について考える；大きな医療事故の紹介、事故防止（担当教員：木村 哲）</p> <p>第8回：多剤耐性菌と医療関連感染症；標準予防策、感染経路別予防策などの重要性を理解する。最後に大学ビジョンと皆さんへの期待（担当教員：木村 哲）</p>	